草濫

熊本高校図書館

第 285 号

2009 年 12 月 17 日

草濫とは？

昭和四十八年十月に創刊されている、息の長い図書館広報紙です。命名した図書委員の説明によれば『草濫』とはこんな意味・・・、

「物事のはじめという意味を持つ。同様なものに濫觴（しょう）がある。これは、大河もその源は『さかずき（觴）』にあふれるほどの小流であるということ。」

何事も初めが大切、の気持ちが込めてあるそうです。

ちなみに当時の記事は？

“希望図書を購入しましたスペシャル！！”

どんな本を買ったんでしょう。

☆「青春の門」五木寛之著

☆「気まぐれ指数」星新一著

☆「幸福論」ヒルティ著

☆「どくとるマンボウ青春記」北杜夫著

☆「壁」安部公房著

☆「アシモフ選集」アシモフ著

等々、いかがです？

では、現在の希望図書には何があるか？　まずは図書館へ、出かけてみて下さい。

前回の草濫で紹介したのが、購入希望図書の一部にあたります。特に今回は本校の同窓会「青年江原会」からの寄付金を有効に利用させていただきました。

人気が高いものは、

☆ 神々の午睡（あさのあつこ著）

☆ 数学ガール(結城浩著)

☆ 6Teen（石田衣良著）

☆ 植物図鑑(有川浩著)

☆ ウミネコのなく頃に（竜騎士０７著）

等々があげられるでしょう。

リクエスト募集中！

リクエストには極力、希望に添うよう購入し、必ずお知らせします。図書館の蔵書検索ページからリクエスト出来るので、大いに利用することをお勧めします。

また、借りたい本が他の人に貸出しされている場合には、予約をする事ができます。カウンター内の職員に声をかけて下さい。予約の本の貸出の準備ができしだい、図書委員さんから連絡がきます。なお、予約をした人で、二週間たっても連絡が来ない場合は、図書館職員まで申し出て下さい。

円滑な貸出が出来るよう、本を延滞している人は早急に返却をお願いします。

お知らせ

○ 冬休み期間の開館日

十二月二十五日(金)

十二月二十八日(月)※午前中のみ

一月五日(火)、六日(水)、七日(木)

○ 開館時間　午前八時三十分～午後四時

○ 貸出期間については特別に、今年中に借りた本は一月八日始業式を返却日とします。

・知ったトコ！言葉の意味・

しょっちゅう

「あの子はしょっちゅう、ゲームばかりやっている」

「あいつは、しょっちゅう、遅刻している」

いつも、常に、終始、というときに「しょっちゅう」という言葉を使います。えっ、これも仏教語？まあ、そんなに驚かないで、話を聞いてください。

お釈迦さまが説法をはじめられて、六十人の弟子ができたときのことです。彼らを集めて、「弟子たちよ、汝らは世の束縛を脱して、心の自由を体得した。これからは世の人びとの利益と幸福のために、諸国を遍歴せよ。二人して一つの道を行くな」と、宣言されました。

そしてさらに「初め善く、中ごろも善く、終わりも善く、道理と表現を兼ね備えた法を説け」と諭されたのでした。『法華経』にも「正法を演説したもうに、初善、中善、終善なり」とあります。

この「初中終」が訛って「しょっちゅう」となりました。

だから、この言葉は、善いことに使ってもらいたいものです・・・

『くらしの仏教語豆事典』京都・本願寺出版

☆ 裏面は、読書感想文校内優秀作品です ☆